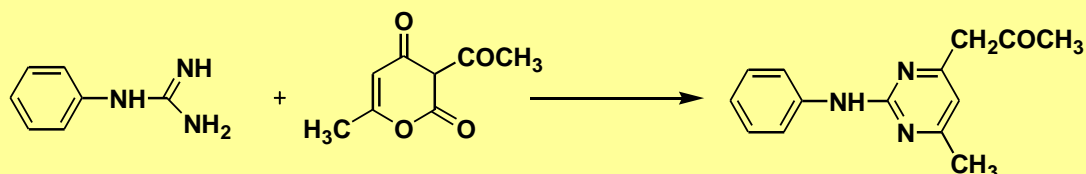


複素環化合物の合成

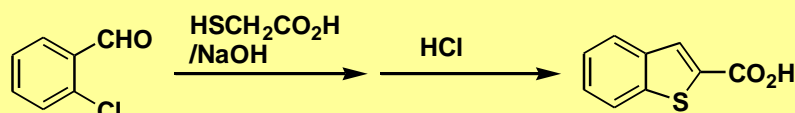
窒素、酸素、イオウなどヘテロ原子を含む環状化合物（複素環化合物）は天然物、合成化合物共に非常に多く存在し、医薬や農薬等の活性成分として重要な役割を果たしています。また、近年開発が盛んな機能性材料や電子材料などの分野では多くの複素環化合物が利用されているため、これらの製品開発において必要となる化合物を工業的に効率よく高品質かつ低コストに造り上げることが望まれています。

クミアイ化学では硫化カルボニルに代表されるイオウ化合物の取り扱いのノウハウを古くから獲得し、その後自社保有のクロルトルエン系化合物の高付加価値化を目指し、複素環化合物に誘導したインドリン、インドール、ベンゾチオフェン類等の製造法の開発を行ってきました。さらには農薬原体の重要な骨格であるピリミジン系化合物の新規製造法を開発するなどの努力を続けてきました。また近年はこれらに止まらず、さまざまな分野のニーズに応えるべく自社ノウハウの深耕や新技術の開発に向けて継続的に取り組んでいます。

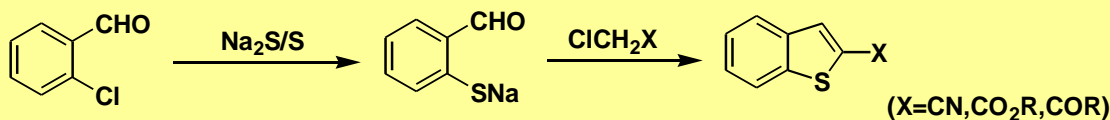
特許第2603108号



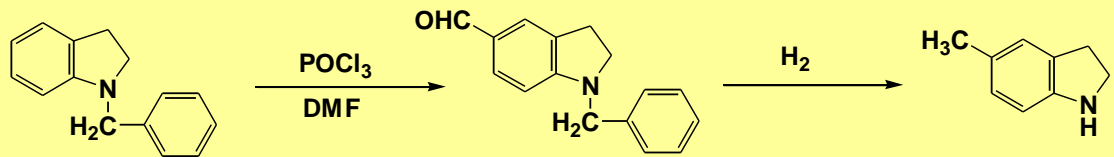
特許第3213822号



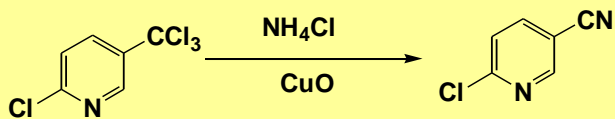
特許第3259206号



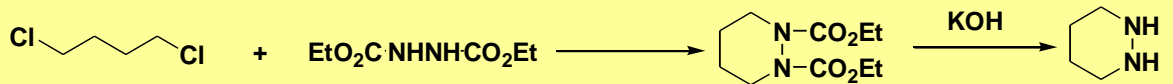
特開平10-279557



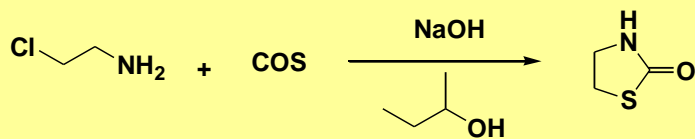
再表95/026340



特開平7-224043



特開平2000-143647



以上のように、クマイイ化学では複素環化合物の分野においてさまざまな製造研究を手がけ、国内外のファインケミカルズに貢献してきました。今後も時代に応じたニーズや課題に対する研究開発を進めてゆき、その一方で積極的に提案できる新技術の創生に向けて努力したいと考えています。

以上